

令和7年度組織目標

部局名	土木交通部
R7年度に特に注力する事項（目標）	○豊かな未来をともにつくる土木交通部 目標： ・ 今だけでなく、次世代を担う子どもの視点に立ちつつ、県民、企業・団体や国・市町等の多様な主体とともに豊かな未来をつくる ・ 建設産業の魅力発信とDX推進 ・ 「みずべのこ」の取組推進 ・ 大津港活性化・賑わい創出の推進 ・ 丹生ダム建設事業の中止に伴う地域整備の推進
	○安全・安心を支える地域づくり 目標： ・ 激甚化・頻発化する風水害や切迫する大規模地震等のリスクに備え、レジリエントな防災・減災機能の強化を図る ・ 流域治水条例の検証を踏まえた対応方針の検討 ・ 道路啓開計画に基づく訓練の実施、計画の更新 ・ 盛土規制の円滑な推進 ・ 管理者不明橋の解消に向けた取組
	○生活や産業を支える地域づくり 目標： ・ 地域や産業の持続的な発展と県民のくらしをより豊かにする交通まちづくりを進める ・ 滋賀地域交通計画の策定 ・ 地域に適した公共交通ネットワークの構築（ライドシェア、自動運転バス、びわこ文化ゾーン利便性向上検討） ・ 道路整備アクションプログラムの着実な推進
	○魅力あるくらしを支える地域づくり 目標： ・ ひとが集い、安心・快適に暮らすことができる魅力のある地域をつくる ・ THEシガパークの取組推進 ・ 居住誘導区域等における優良な住宅ストックの形成・空き家対策の推進
	○CO₂ネットゼロを推進する地域づくり 目標： ・ 琵琶湖を中心とした自然や滋賀のくらしを守り、より豊かな滋賀を次世代に引き継ぐ ・ 「滋賀のグリーンインフラ取組方針」の浸透 ・ CO₂固定コンクリート活用 ・ 営繕工事におけるCO₂削減仕様の付加

所属名	監理課
R7年度に特に注力する事項（目標）	○全部局職員の建設工事等に係る入札契約事務能力の向上とミス防止対策の徹底 目標： ・入札契約事務に係る説明会、研修会を年2回以上開催する。 ・R8.3までに、入札公告作成のための入力フォームを作成する。
	○事務系職員の土木事業に対する知見を深める 目標： ・事務系職員向けの現場見学会を開催し、40名以上の職員に参加してもらう。
	○【見直し・効率化】建設業者事業年度終了届の電子申請手続の普及による業務の効率化 目標： ・建設業者事業年度終了届の電子申請の普及を図り、電子申請件数300件を目指す。

所属名	技術管理課
R7年度に特に注力する事項（目標）	○建設分野のDX推進 目標： ・拡張ARを用いた現場立会を開始する（年間10件）。
	○「滋賀のグリーンインフラ取組方針」の浸透 目標： ・昨年度策定した取組方針の全庁的な理解を深め、実践につなげるため、シンポジウムの開催や研修の拡充などに取り組む。
	○建設産業の魅力発信の拡大・拡張 目標： ・11年目となる滋賀けんせつみらいフェスタや出前授業に加え、新たに、万博およびベトナムでもイベントを開催し、魅力発信の場を拡大する。
	○【見直し・効率化】公共工事におけるペーパーレス化の取組推進 目標： ・ペーパーレス検証工事を試行し、ペーパーレス工事要領を策定する。

所属名	用地事業支援課
R7年度に 特に注力 する事項 (目標)	○県立高専造成工事の完了 目標： ・令和10年度開校に向け、令和7年度内に造成工事を完了させる
	○地籍調査の推進 目標： ・公共事業関係機関と用地に関する課題や対応方法等を共有し、市町とともに公共事業を意識した個所付けの検討を進める。
	○用地取得支援による早期の用地取得実現 目標： ・各土木事務所、各部局の事業にかかる用地取得を支援し、事業が円滑に進むよう適期の用地所得完了につなげる。
	○【見直し・効率化】地籍調査交付金・補助金事務の効率化 目標： ・添付資料が複雑で、作成に時間がかかっているため、元データと加工方法を文書化し、事務の効率化と適正確保を推進する。

所属名	交通戦略課
R7年度に特に注力する事項（目標）	○「より良い暮らし」の実現に向けた滋賀地域交通計画の策定 目標： ・県民等と公論熟議を重ね、具体的な施策づくりと新たな税を含めた必要な財源についての理解と共感を醸成し、滋賀地域交通計画を策定する。
	○地域に適した公共交通ネットワークの構築 目標： ・国スポ・障スポ大会におけるライドシェアの試行、自動運転バスの実証運行、びわこ文化公園都市周辺地域におけるアクセシビリティ向上検討等、交通不便の解消に向けた取組を展開する。
	○地域公共交通の利用促進 目標： ・企業向けモビリティマネジメントの実施による通勤手段の転換や、交通環境学習の実践など、地域と連携した更なる利用促進策の実施により、利用促進を図る。 ・県職員の「エコ通勤」の促進により、公共交通の利用促進と併せて、マイカーの利用削減やCO₂の排出削減を図る。
	○【見直し・効率化】ペーパーレス協議の推進 目標： ・課内協議、部内協議の資料を原則ペーパーレス化し、資料作成・情報共有の効率化を図る。

所属名	県東部地域公共交通支援室
R7年度に特に注力する事項（目標）	○公共交通ネットワークの構築、利用促進 目標： ・近江鉄道線の安全運行の確保と利便性の向上を図る。
	○【見直し・効率化】ペーパーレス協議の推進 目標： ・課内協議、部内協議の資料を原則ペーパーレス化し、資料作成・情報共有の効率化を図る。

所属名	道路整備課
R7年度に特に注力する事項（目標）	○県土の発展を支える道路整備の推進 目標： ・道路整備アクションプログラム2023に位置付けた事業の進捗管理を適切に行い、事業を推進する。（開通目標：5 km） ・直轄国道や高速道路の整備や調査の促進に向け、国や高速道路会社との一層の連携を図る。 ・開通イベント（直轄国道、県道）を通じて、国スポ障スポのPR活動を実施する。
	○防災・減災機能の強化 目標： ・「滋賀県無電柱化推進計画」に定めた目標（令和7年度末までに5km工事着手）を達成する。 ・防災道の駅「せせらぎの里こうら」やリニューアル計画のある道の駅「草津」において、防災機能向上に向け工事に着手する。
	○名神名阪連絡道路の推進 目標： ・住民等の意見の把握を行うとともに、広域的な視点で幹線道路ネットワークの検討を行い、優先区間を決定する。
	○【見直し・効率化】ビッグデータを活用した業務の効率化 目標： ・ETC2.0プローブデータ等のビッグデータを活用して、開通後の整備効果や課題を効率的に取りまとめる。

所属名	道路保全課
R7年度に特に注力する事項（目標）	○老朽化・災害対策に対応した道路維持管理の充実・強化 目標： ・老朽化する橋梁メンテナンスについて、産官学連携による新技術活用や効率的な管理手法構築に向けた検討を実施 ・昨年度策定した道路啓開計画をもとに、緊急輸送道路ネットワーク計画や橋梁長寿命化修繕計画を踏まえ、橋梁耐震補強計画の見直しを実施 ・道路啓開計画に基づき訓練を行い、計画のブラッシュアップを実施
	○安全・安心な地域の暮らしを支える歩道の計画的整備の推進 目標： 道路整備アクションプログラム2023（AP2023）に位置付けた歩道整備箇所等の適切な進捗管理による事業推進 歩道開通延長：4km うち通学路：2km
	○地域を豊かにする自転車活用の推進 目標： 交通量の多い湖岸道路等で自転車通行帯を整備し、自転車と車の双方が安全・安心に通行できる道路環境整備を推進 自転車通行帯整備延長：6km（累計32km） （参考）滋賀県自転車活用推進計画目標（R8末）32km
	○県民の交通安全意識の高揚と交通事故防止の推進 目標： 各推進機関・団体と協力し滋賀県交通安全県民総ぐるみ運動を展開（街頭啓発：月1回以上、年間20回）
	○【見直し・効率化】総合的な道路管理のDX推進 目標： ・複数存在する道路情報システムの一元化や、効率的な道路運用について全庁的なDX推進との連携を含めて改良方針を検討 ・発見が困難な道路下の空洞把握など、関連部局と連携し、道路性状把握に有効な新技術の活用を検討

所属名	都市計画課
R7年度に特に注力する事項（目標）	○THEシガパークの取組推進 ・「THEシガパークビジョン」の素案策定（基本理念および第Ⅰ期取組計画を定める。この中で、各公園の再整備方針やPPP等の民間活力の導入方針も検討） 目標： ・「湖岸緑地適正利用促進方策」の進捗（ゲート駐車場暫定導入の初年度結果の検証と公表、予約制バーベキュー・キャンプ場の検討および湖岸公園全体計画検討における利用ルールの見直しの中間取りまとめ）
	○都市公園の施設改善の推進 ・湖岸緑地のインフラ整備の進捗（志那Ⅰ、帰帆島への上下水道敷設） 目標： ・奥びわスポーツの森および春日山公園におけるスケートボードパークオープン
	○「都市計画基本方針」に沿った都市計画決定等への取り組み ・近江八幡八日市都市計画区域、甲賀都市計画区域および大津湖南都市計画区域（一斉随時）の区域区分見直しに向けて、昨年度に引き続き国等関係機関と協議を行い本年度末には変更を行う。 目標：
	○【見直し・効率化】電子申請における屋外広告業登録事務の簡素化 申請者がWEB入力した情報を自動で管理台帳に登録されるシステムを構築し、申請手続きの更なるDX化および業務の効率化を図る。 目標：
	○【見直し・効率化】都市計画審議会・景観審議会のペーパーレス化 ・都市計画審議会・景観審議会において、説明資料をタブレットやPCで閲覧できる環境を整えることで、ペーパーレス化を図る。 目標：

所属名	住宅課
R7年度に特に注力する事項（目標）	○盛土規制の円滑な推進 目標： ・ 令和7年4月1日から開始した盛土規制について、市町や庁内関係所属と連携を図りながら、適正に許可申請や届出が行われるよう事業者を指導するとともに、速やかに審査事務を執り行い、トラブルなく円滑に規制事務を推進していく。
	○居住誘導区域等における優良な住宅ストックの形成・空き家対策の推進 目標： ・ しがZEH新築支援事業費補助金によるZEH普及促進補助金申請件数 170件 ・ 空き家バンクの登録促進等に係る市町への補助事業の実施 空き家バンクによる売買成約件数 150件 ・ 民間との連携協定の活用による空き家の除却促進 特定空家等の改善件数 25件
	○県営住宅における施設の有効活用と家賃収納の推進 目標： ・ 子育て世帯・若者世帯の入居促進のため、目的外使用の活用方策や入居要件の見直しに係る検討を行い、空住戸の有効活用を図る。 ・ 家賃収納について、指定管理者と連携を図り、現年収納率98%以上を維持する。
	○【見直し・効率化】宅地建物取引業にかかる電子申請の推進 目標： 宅建業免許にかかる電子申請の利用促進に向けホームページや業界団体を通じて制度周知を図る。 電子申請件数 50件

所属名	建築課
R7年度に特に注力する事項（目標）	○営繕工事におけるCO₂排出量削減に資する仕様の付加、高効率部材や機器等の採用 目標： ・外壁・屋上防水・設備改修等の設計について、CO₂排出量削減に資する仕様を30件以上採用する。
	○既存住宅の耐震化普及啓発の強化 目標： ・市町と協力し、出前講座等の普及啓発を行うことにより補助金を活用した耐震改修の件数を過去3年平均の3割増加させる。
	○【見直し・効率化】営繕業務におけるICTの活用 目標： ・わかりやすく視覚化したデータ等を用いることで、設計協議を効率的に行うため、BIM活用モデル事業として設計業務委託を8件以上発注する。

所属名	流域政策局
R7年度に特に注力する事項（目標）	○こども向け事業を「みずべのこ」としてブランド化し展開 目標： ・ 出前講座や環境学習等を情報発信 ・ 教育委員会、琵琶湖部、子ども若者部等とも連携し、内容充実
	○国施策を積極的に活用した流域治水の加速化・深化 目標： ・ 流域治水条例10年目の答申を踏まえた対応方針の検討 ・ 河川整備の完了区間延長 2.4km ・ 土砂災害防止施設整備完了 8か所
	○丹生ダム建設事業の中止に伴う地域整備と地域振興の推進 目標： ・ 余呉地域振興事業交付金を活用した事業の検討
	○関係者と連携した大津港活性化・賑わい創出の推進 目標： ・ 大津港活性化・再整備実施方針の策定

局内室名	河港管理室
R7年度に特に注力する事項（目標）	○関係者と連携した大津港活性化・賑わい創出の推進 目標： ・ 大津港活性化・再整備実施方針の策定 ・ 照明のLED化による環境改善
	○地域との協働による河川管理の推進 目標： ・ 河川協力団体登録数 1 団体
	○管理者不明橋の解決に向けた取組 目標： ・ 全数安全点検に先立ち、パイロット業務の実施 ・ 利用停止措置（看板設置（事前周知）、通行止め）の着手
	○【見直し・効率化】局内共通事務の効率化 目標： ・ 所属で導入したファイルサーバ運用の安定化・効率化 ・ 庶務・服务等関係書類のさらなる電子化

局内室名	河港事業室
R7年度に特に注力する事項（目標）	○いのちと暮らしを守る河川・港湾整備の推進 目標： ・ 完了区間延長 2.4 k m （河川整備5か年プラン 第3期） ・ 長浜港耐震化整備 整備率55%→60%
	○いのちと暮らしを守る川づくりの方針等の見直し 目標： ・ 滋賀県の河川整備方針の変更にに向けた検討 ・ 気候変動を踏まえた治水計画案の作成 1 河川
	○グリーンインフラの視点を取り入れた河道の適正な維持管理の推進 目標： ・ 竹木伐開・堆積土砂撤去に取り組む箇所数 270箇所
	○CO2ネットゼロ社会の推進 目標： ・ 工事でのCO2固定コンクリート活用 2箇所
	○「みずべのこ」の取り組み推進 目標： ・ 滋賀県版水辺の楽校の取り組み 5箇所
	○【見直し・効率化】ペーパーストックレス化の推進 目標： ・ 庁内メールを活用した簡易決裁回議により紙書類を作成せず、ペーパーストックレス化と効率化を図る。

局内室名	流域治水政策室
R7年度に特に注力する事項（目標）	○水害に強い地域づくりの実現 目標： ・流域治水条例10年目の答申を踏まえた対応方針の検討 ・浸水警戒区域の指定 5地区（累計26地区） ・避難計画の策定支援 5地区（累計36地区）
	○-自助よし、共助よし、公助よし- 三方よしの防災アプリの開発 目標： ・防災アプリPT（プロジェクト）の多部局連携（5部局以上） ・若手職員（主査級以下）による、使いやすいデザインや操作性を検討するUI検討部会（防災アプリPT）の運営 ・試験運用での改善を行い、防災アプリの開発完了・アプリリリース
	○【見直し・効率化】問合せ対応力の向上と効率化 目標： ・地先の安全度マップ等の問合せ対応における、FAQのデジタル活用による質疑応答の効率化

局内室名	水源地域対策室
R7年度に特に注力する事項（目標）	○丹生ダム建設事業の中止に伴う地域整備と地域振興の推進 目標： ・余呉地域振興事業交付金を活用した事業の検討 ・県道中河内木之本線の災害復旧工事完了
	○大戸川ダム水源地域整備事業の推進 目標： ・住民ニーズに沿った整備内容にするため勉強会に参画
	○ダムインフラ老朽化対策の推進 目標： ・ダム長寿命化更新計画の策定 2ダム
	○【見直し・効率化】ダム管理のDX 目標： ・設備異常時など緊急対応のため、DX機器を活用し、遠隔で復旧指示ができる手法の検討

局内室名	砂防室
R7年度に特に注力する事項（目標）	○いのちと暮らしを守る砂防堰堤、法面工の整備推進 目標： ・土砂災害防止施設 整備完了 8箇所
	○土石流や崖崩れから暮らしを守るため土砂災害警戒区域指定を推進 目標： ・土砂災害警戒区域指定 28区域
	○流木捕捉機能も付加した砂防堰堤の整備 目標： ・新規事業化 3箇所
	○【見直し・効率化】土砂災害防止に係る啓発活動の電子化・国際化 目標： ・多言語化したパンフレット等をSNSを活用して普及啓発